

条例等による取組み

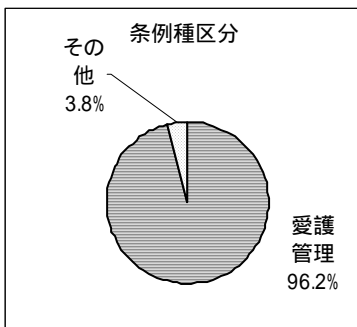
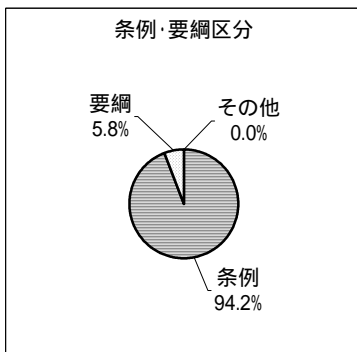
1. 条例・要綱の制定区分と性格

都道府県、政令指定都市、中核市（以下、「都道府県等」という。）の多くはねこに関する規定を盛り込んだ条例を制定しているが、そのほとんどは動物愛護管理条例の性格を有している。

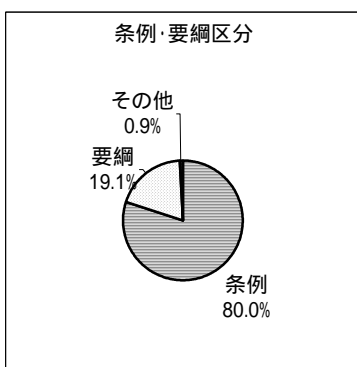
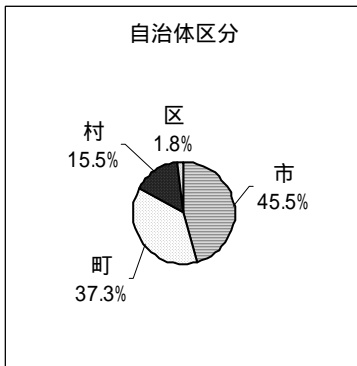
地方、市町村においては、ゴミ・糞害防止条例又は要綱が最も多く、環境美化条例、動物愛護管理条例の順となっている。このため、都道府県等での条例等では、適正飼養と迷惑防止の両方が盛り込まれているものが大半であるが、市町村条例では迷惑防止の比重が大きいようである。

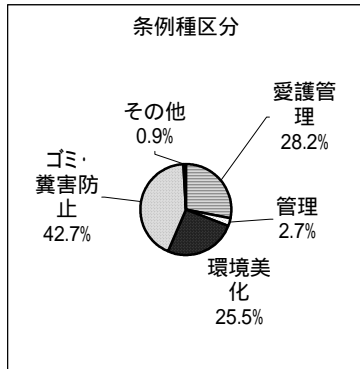
また、一部の市町村においては飼いねこの適正飼養、迷惑防止、野良ねこの捕獲推進、野生生物の捕食防止等を図るため、飼養の届出（登録）、個体識別（首輪、ペンダント、鑑札、マイクロチップ等）、繁殖の制限等を内容としたねこだけを対象とした条例・要綱等を定めているところがある。

都道府県等（52 都道府県・政令市・中核市）



市町村（110 市町村）

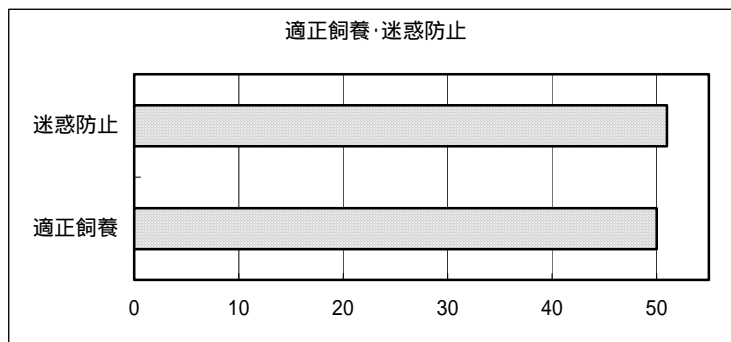




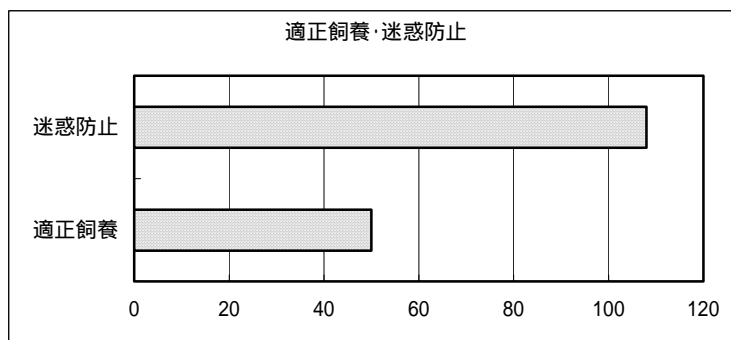
2. 適正飼養と迷惑防止

都道府県等の条例等では、適正飼養と迷惑防止双方について定めているのがほとんどである。市町村においては迷惑防止のみを定めているところが多く見られる。

都道府県等（52 都道府県・政令市・中核市）



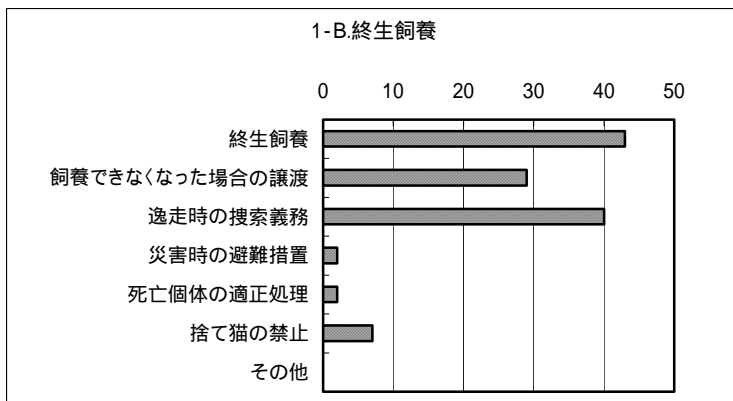
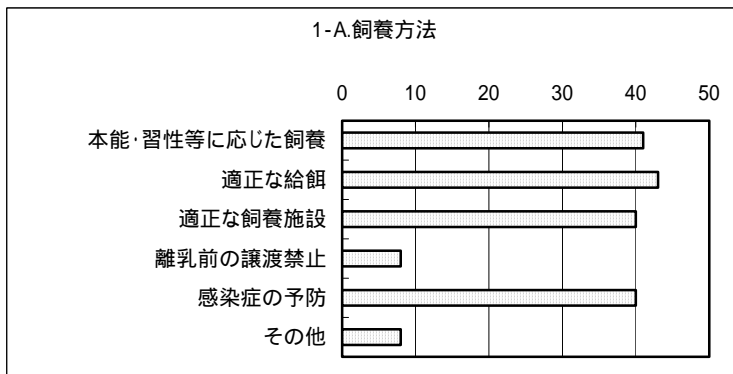
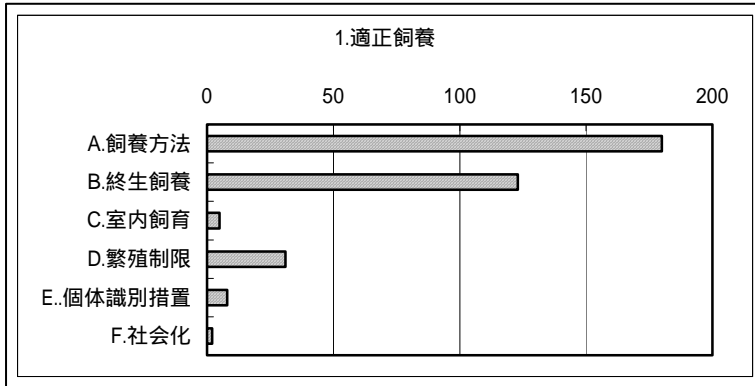
市町村（110 市町村）

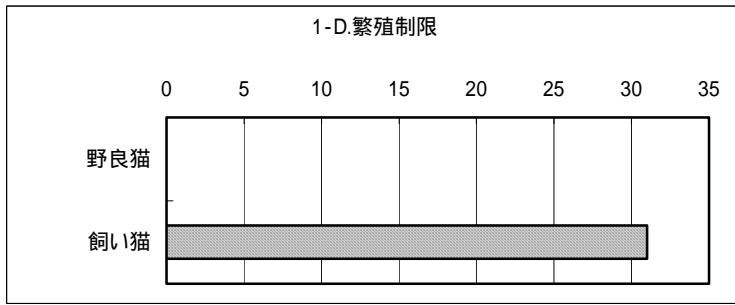


3. 適正飼養の内容

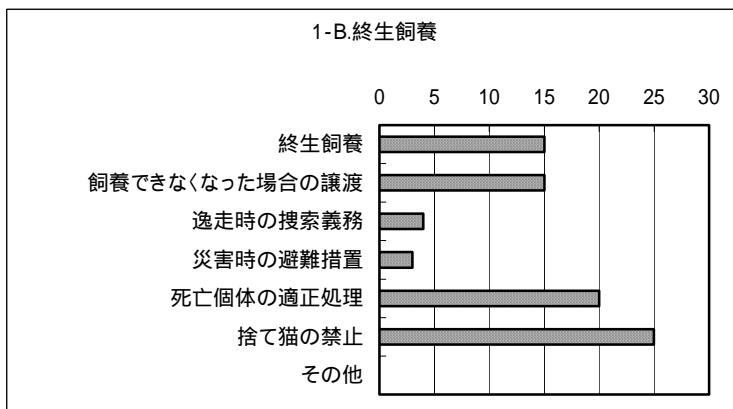
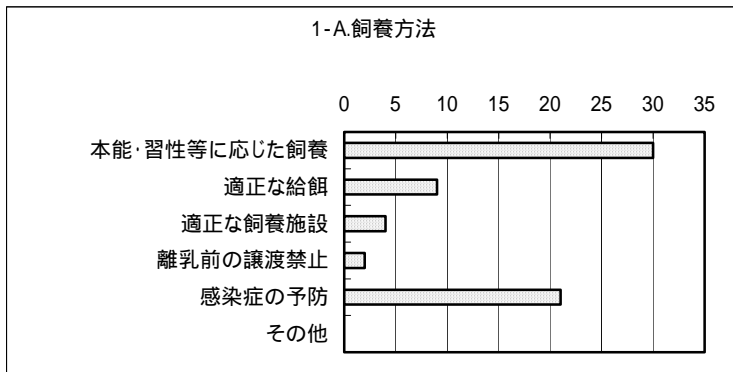
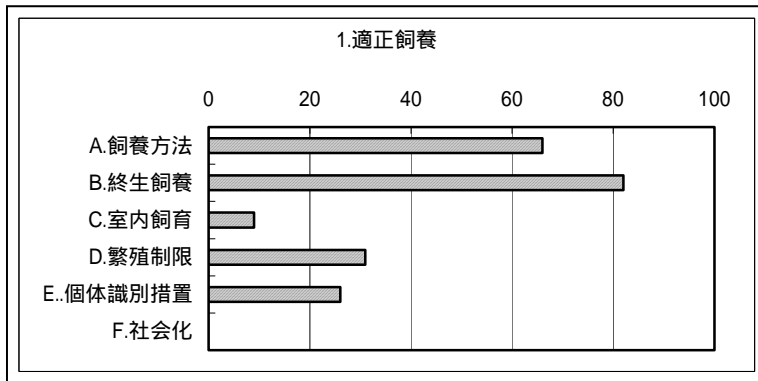
適正飼養の内容を盛り込んでいる条例等において、都道府県等では適正な飼養方法及び終生飼養が最も多い。他方、市町村では、適正な飼養方法、終生飼養の他、繁殖制限、個体識別措置も多く盛り込まれている。

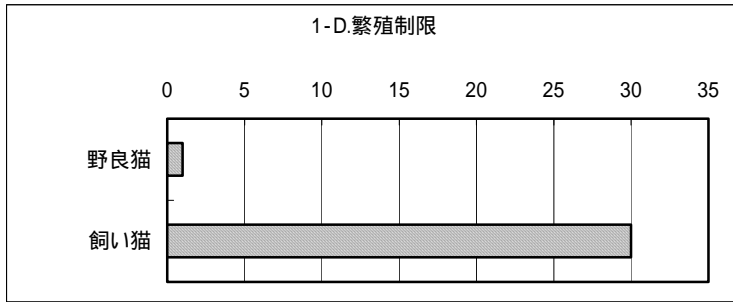
都道府県等（52 都道府県・政令市・中核市）





市町村 (110 市町村)



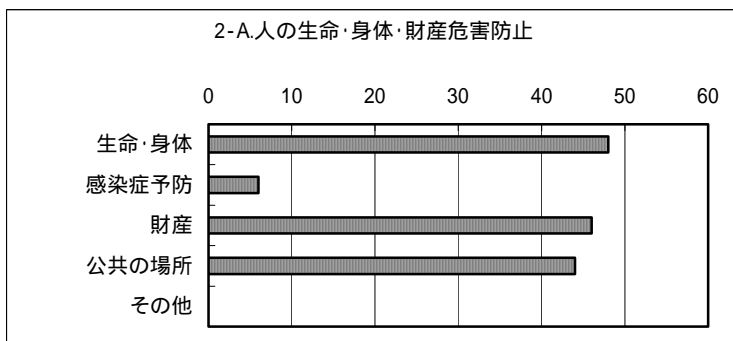
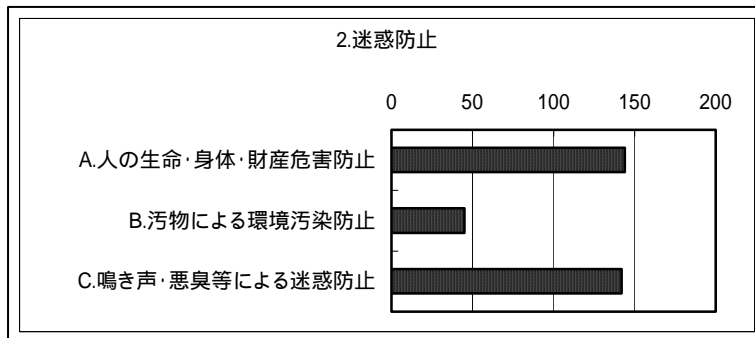


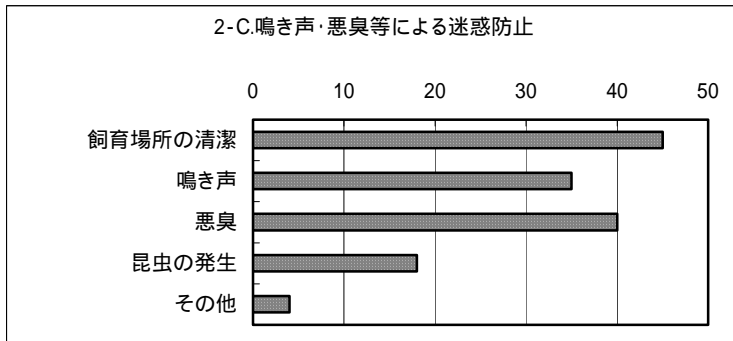
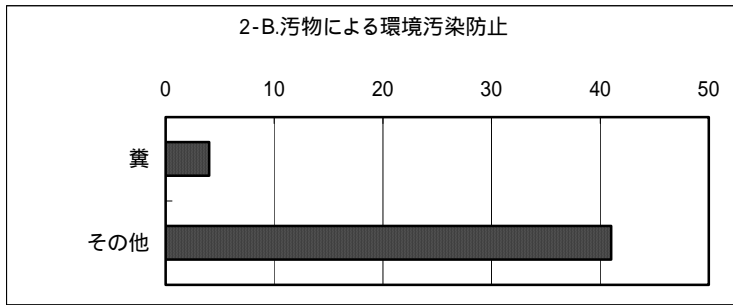
4. 迷惑防止の内容

迷惑防止の内容を盛り込んでいる条例等において、都道府県等では人の生命・身体・財産の危害防止と鳴き声・悪臭等による迷惑防止が最も多い。

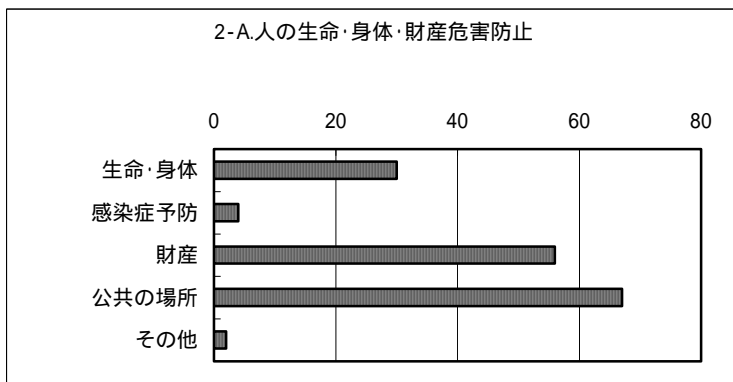
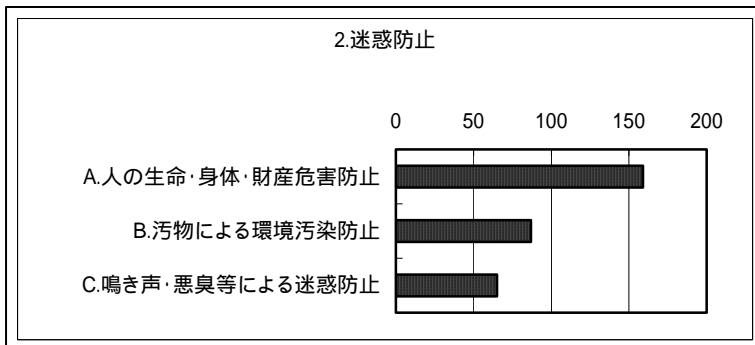
他方、市町村では、人の生命・身体・財産の危害防止に次いで多いのは汚物による環境汚染防止であり、犬、ねこの糞害対策が市町村行政の課題となっていることが示されている。

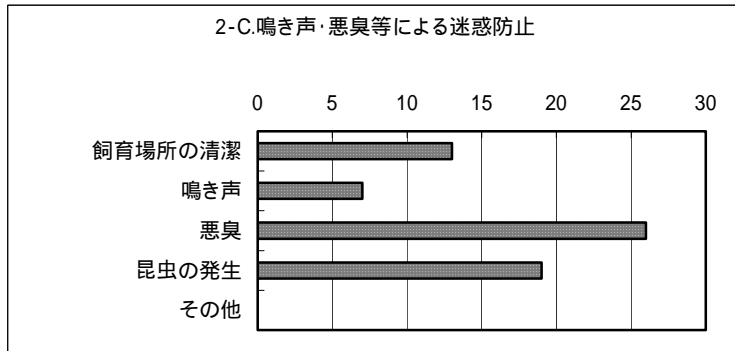
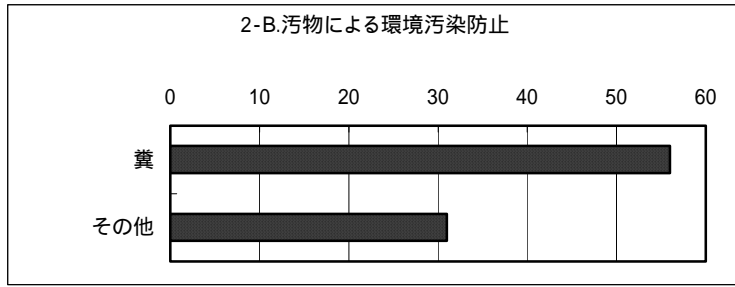
都道府県等（52 都道府県・政令市・中核市）





市町村（110市町村）





5. 不妊・去勢に係る助成

不妊・去勢に係る助成の状況は次の通りである。なお、1市がガイドラインによるほか、すべて要綱によって定めている。

